

# 同窓会報 白百合



発行 2023年5月

## 子ども教育学科スタート

仙台白百合女子大学 学長  
同窓会名誉会長

矢口 洋生



仙台白百合女子大学の運営に際して、同窓会の皆様の物心両面にわたる御支援にあつく感謝申し上げます。18歳人口の劇的減少に伴い、多くの教育機関が学生募集に苦勞している昨今ですが、本学も例外ではなく入試広報活動に注力する日々が続いています。

人間学部の新たな動きをご紹介します。2023年度から人間発達学科が子ども教育学科に代わります。これによって、中学校の教免が取れることになりました。これまでも小学校教免は取得できたのですが、最近、中学校教免と併せ持つことによって教員採用のチャンスが広がるため、このような改組を行いました。それによって、教育に特化した新たな専門課程が出来上がり、大いに期待したいところです。

コロナ禍の終息は明確ではないのですが、行動制限が緩やかになり、国際交流も再開されました。しばらくは留学や海外研修の機会が制限され、学生たちの貴重な学びの機会が奪われて残念な状態が続いたのですが、今後は本学の強みであるグローバル力を促進させる教育が再開できるものと期待しています。最近、韓国の大学が興味深いプログラムを提供してくれるので、学生の人気が高まっています。

またコロナの副産物なのかもしれませんが、オンライン授業の可能性が今後は広がるものと予想されます。カトリック大学・短大連盟ではキリスト教学・人間学の分野において、授業を相互乗り入れする制度を設計中です。例えば、上智大学の先生の授業を本学から、あるいは自宅から受けられるようになることが期待されます。そのような仕組みを応用すれば、海外の大学の授業を本学で受講することも可能になると思われます。

テクノロジーの進歩に対応するために、最近の学生たちは常に新ツールを使いこなせるようになることが要求されます。本学でもその一助となる教育展開を用意しています。具体的には「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を2024年から全学生に提供する予定です。そのために、全学生に対してこの分野の必修科目を置く予定です。

その他にも、学生にとって魅力のあるプログラムを提供することを通して、学生の皆さんに喜ばれる教育内容と教育サービスを提供することを日々考えています。OGの皆さんのご支援とご意見が、現役学生のみならず、教職員一同にとって何よりも励みとなります。今後も母校の事を気にかけてくださいますようお願い申し上げます。

## ご挨拶

仙台白百合女子大学 同窓会会長  
家政科7回生

氏家 幸子



同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2022年6月大変に残念ではありましたが、コロナ禍のため同窓会総会が開催できぬまま、同窓会会長の渡邊博子氏のご勇退されました。それに伴い、同窓会会長を拝命いたしました。

同窓会会長就任にあたり、同窓会の基礎を築いてくださいました前会長はじめ役員の皆様のご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。

私といたしましては、渡邊前会長が築かれた基礎を大切に、同窓生にとっても、また母校にとっても同窓会が必要不可欠な存在となるよう、役員並びに事務局メンバーと心を一つにして同窓会を発展させて参る所存です。

とは申しても、一昨年来の新型コロナウイルス感染症の流行によって、同窓会の活動も制約を受け、毎年皆様と集う総会も2020年から実施できておりません。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様共々日常生活において多大なご苦勞があったのではないかと拝察いたします。

今年こそは総会を！と考えておりましたが、年が明けてもなかなか収まらない状況から今年度の総会も中止と決定させていただきました。

そのような中、昨年10月には1日だけではありましたが、白百合祭が開催され、同窓会ブースとして恒例のパザールを実施することができました。今回は2階に会場を移しての開催にも関わらず多くの皆様において頂き、たくさんの笑顔に出会うことができました。そんな笑顔を見ていると、とてもホッとした気持ちになり同窓生の強いつながりを感じることが出来ます。また、やや私事にはなりますが、別紙面でご紹介がある学生たちの開発食品発売に当たっても喜んでたくさん応援してくださいるのは同窓生の皆様方です。在学中に身につけたカトリックの精神の下、仙台白百合女子大学を心から愛してくださっているのだと確信いたしました。そんな強く温かな絆を絶やさぬように努めて参る所存です。どうぞ、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

## 白百合の思い出

私は、2023年3月をもって定年退職を迎えることになりました。1982年に仙台白百合短期大学に就任してから41年という長い間勤務したことになります。当時は、まだ、家政科のみの短大で、大学の下は、田んぼや畑しかありませんでした。また、学生にはえんじ色の制服があり、校内には上履きに履き替えて入ることになっていました。高校のような雰囲気でしたが、教職員の数も少なく、家庭的な雰囲気、年に一回全教職員で東北地方の旅行にでかけたことを覚えています。その後、英語科ができ、そして、4年制大学に変わっていく中で、教職員の数も学生数も増えていきました。短大時代の一番の思い出は、将来構想委員長として4年制大学を作ることを学長に提言し、その後、たくさんの先生方のご協力の下で、4年制大学が実現したことです。また、4年制大学になってからは、4期8年間学部長を務め、キャンパス整備で新1号館やステラ

仙台白百合女子大学 名誉教授  
人間発達学科

牛渡 淳



マリスを作ったこと、大学院設置構想を理事会に提言したこと、そして、現在の学科体制につながる学科再編を行ったことです。そして、学部長を終える1年前の2011年3月に東日本大震災に見舞われましたことは忘れられません。災害対策本部長として、約100人の避難学生の対応にあったことや、学生の安否確認、校舎の復旧、まじかに控えていた卒業式や入試をどうするかなど、次々と決断を下さなければならなかったことを覚えています。その後、2014年4月からは学長として大学の経営にあたりました。この時は、本学の創立50周年に当たり、記念行事を行ったことも忘れられない思い出です。

これまで多くの教職員の皆様と学生の皆さんに支えられて勤めることができました。白百合の発展とともに41年間過ごせたことは幸せでした。本当に長い間ありがとうございました。

## 白百合の教育・研究に携わった44年間に感謝

家政科11回生

高澤 まき子



同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私こと、昨年3月に大学を退職させていただきました。思えば本学の前身の仙台白百合短期大学を卒業し、調理研究室に助手として勤務することになり、保井明子先生はじめ多くの調理系の先生方からご指導頂いただきました。当時の調理系の先生方は数名おり、常に「真の美味しさとは何か」を追求され、そして季節の食材を求めていらっしゃいました。特に春には学内に自生している蓬、土筆、ふきなど調理実習の献立に取り入れ、季節感あふれる実習が展開されていました。このことを受け継ぎ、調理・食品学を担当させていただき、白百合で44年間大変お世話になりました。

在職後半では10年間にわたり宮城の家庭料理の調査研究に県内の調理科学会員の先生方と携わらせていただきました。食料の宝庫と言われる宮城県は、山脈、丘陵地帯、平野、リアス式海岸等の地形を有し、それぞれの地域の気候風土があり、昔ながらの食文化が見られておりました。その特徴から、はっと文化や種類

豊富な餅文化が県北地域にみられること、どの地域も地元でとれた季節の食材が種々の料理に生かされ、食べ物を粗末にしない工夫がなされていることがうかがえました。また正月雑煮の材料は、大根、人参、ごぼうのひき菜、凍み豆腐、ずいきが全地域において用いられておりましたが、そのだし素材は地域によって異なっている点は意外でした。この調査研究がベースとなって、農林水産省HP「うちの郷土料理 次世代に伝えたい大切な味」としてまとめられております。次世代の学生のみならず、子や孫に伝えていかなければならないと思っています。

現在は、やんちゃ坊主の孫に振り回されている傍ら、大学非常勤講師として大学に携わらせていただいております。今後も大学の発展のために微力ながら尽力させていただきます。

本学の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りしております。



# フードドライブ

心理福祉学科 准教授

郡山 昌明

2022年は、良いことも悪いことも沢山あった年でした。冬のオリンピック。日本人の活躍はめざましいものでした。秋には、サッカーの世界カップ。こちらも日本が優勝経験のある国を破り、日本中が興奮に包まれました。一方で、2020年に起こったコロナウイルス感染症が未だに人々を苦しめています。また、2月にはロシアによるウクライナへの攻撃があり衝撃を受けました。この戦争により、世界では燃料費の高騰や食糧の不足が引き起こされました。これらのことは、私達の生活に大きな影を落としています。

燃料や食料は、私達の生活にとって欠かすことのできないものです。ある報道によれば主要飲食物品メーカー105社における価格改定品目は、2万品目、値上げ率の平均は14%とありました。一品目、たかが10円かもしれませんが、日常の生活においては結構な額になります。このことで、食料品の買い控えや外食を減らすというような現象が occurred。一方では、消費期限が過ぎてしまって捨ててしまうという現実もあり

ります。

フードドライブは、「食品ロスの軽減と食品購入が難しいひとへの支援」です。食料をムダにせず“誰かの役に立つのであれば”と大変な思いをしている人へこころを寄せて活動するというものです。5月の上旬に心理福祉学科の学生が中心となって、在学生や教職員、同窓会の方々のご協力のもと、大学内でこの活動を行いました。1週間ほどでしたが、学生2名が一組となって交代しながらお昼休みの30分間、学内3ヶ所にボックスをおいて食品の提供を受けました。集まった食品は、仙台社会福祉協議会を通して配布していただきました。

私たちは、自分自身が良ければよいという考えではなく、まわりにいるひとたちも一緒に喜びを分かち合えるという気持ちでこの活動を行いました。2023年も引き続き困っている誰かの役に立てる活動を積極的に行いたいと思っています。



## カトリック研究所 第35回公開講座

演 題：「生誕100年の遠藤周作と東北キリシタン  
—『侍』を中心に」  
日 時：7月15日(土) 13:30～15:30  
講 師：山根 道公氏 (ノートルダム清心女子大学教授)  
会 場：本学

## カトリック研究所 2023年度 第1回研究会

演 題：希望を拓くスピリチュアルケア  
—フランクルの思想から—  
日 時：5月20日(土) 13:30～15:00  
講 師：加藤 美紀氏 (本学カトリック研究所所長)  
会 場：オンライン講演 (Zoom)

## 加藤美紀先生の本が出版されました



本学カトリック研究所所長、グローバル・スタディーズ学科教授の加藤美紀先生が著書『アンジェラスの鐘—希望への招き—』を出版されました。


本書は、キリスト教月刊誌『福音宣教』に2年間連載されたエッセイの単行本化です。聖書、フランクル、ヒルティ、カミュなどをヒントに希望への道筋を探ります。名画や聖地の写真も

豊富で、読みやすい口語体。将棋棋士・加藤一二三氏(本学客員教授・文化功労者)との親娘対談も魅力です。

加藤美紀 著『アンジェラスの鐘—希望への招き—』  
オリエンス宗教研究所、2022年10月7日刊行、全272頁。

## カトリック研究所より本が出版されました

いのちと霊性 キリスト教講演集  
✦ 仙台白百合女子大学カトリック研究所 編  
教友社©定価 2,500 円 (税別) 978-4907991906



生きる意味とは何か。現代人の希望はどこにあるのか。混迷する世界の中で、他者のために、他者と共いいのちが輝くための霊性のありかを探る。  
死生学・医学・哲学・神学・宗教学・文学・教育学・人間学・経済学・地球環境学が交差する——14名の珠玉の講演を収録。

**第I部 生と死を見つめて**  
いのちへのまなざし▷幸田和生/「生命」へのアプローチと、「いのち」へのアプローチ▷佐竹正延/最期まで自分らしく生きるために▷清水哲郎/現代人の死生観とスピリチュアリティ▷島藺進

**第II部 限界状況に生きる人間**  
大災害と人間の生きる意味▷岩田靖夫/限界づけられた生を受け継ぐ▷竹之内裕文/『夜と霧』に学ぶ「生きる意味」▷加藤美紀/フクシマの痛みの中で▷川上直哉/なぜ神は助けられないのか▷西平直

**第III部 現代世界に息づくキリスト教霊性**  
心に到来する他者▷田中智志/シャルトル大聖堂のラビリンス▷リチャード・ガードナー/途上国の開発と環境▷ジョン・ジョセフ・ブテンカラム/わが国における大学改革とカトリック大学の役割▷高祖敏明/現代の忘れもの▷渡辺和子

お求めは、書店または Amazon 等で購入できます。



## 商品開発について

健康栄養学科4年 小野 愛実

大学3年生の夏頃、宮城県水産業振興課様を通してヨークベニマル様から「若者の魚離れに着目した商品開発に大学生目線の意見を取り入れたい。」というお話をいただき、氏家ゼミで商品開発に取り組みました。1年かけて試作や関係機関の皆様方と話し合いを重ね、宮城県産のかつおといわしを使った「勝つおフレク（ヤンニョム味）」と「コロッといわしボール（トマト味・黒酢味）」の3品を完成させました。

アピールポイントはどれも骨を気にせず手軽に食べやすいことです。

「勝つおフレク（ヤンニョム味）」については、学生同士でアイデアを出し合い、様々なアレンジレシピを提案しました。レシピはパッケージに表記しているQRコードから見ることができます。味付けは、いろいろと試した結果、ごはんによく合い、若者に人気のある韓国文化を意識してヤンニョム味にしました。最後まで優劣つけがたかった洋風のレモンバジル味もおいしかったです。

いわしボールはレトルト食品で、一人暮らしの学生でも気軽に魚を献立に取り入れられることをねらいと

しており、パックを開けるだけで簡単に魚の優れた栄養成分を摂取できるおかずを一品用意することができます。

商品名やパッケージはどれも先生や学生で話し合い、最終的には健康栄養学科の学生に3種類の中から投票をしてもらい決定しました。

商品開発に関わるのは初めてのことで、いろいろなことに戸惑いながらも、協力してくださった関係者の方々に引っ張られて発売まで辿り着くことができました。

私は「若者の魚離れ」に留まらず、宮城の水産業の発展や魚の栄養素を生かした健康づくりにも貢献したいという思いで開発してきましたので、完成した時にはとてもうれしかったです。

3品とも、白百合マーク、ヨークマーク、そして地元の食材を利用していることで水産むすび丸も付いて、2022年12月から宮城県と山形県内のヨークベニマルで販売していただいております。魚売り場、あるいは地産地消売り場にありますので、ぜひ、多くの方々にお買い求めいただきたいです。



## 2022年度入会式

2023年3月16日(木)、本学講堂にて人間学部24回生の同窓会入会式が行われました。

マリア様に見守られ、244名の新会員を迎える事が出来た事を嬉しく思います。

大学生活で学んだ多くの事を原動力に、益々のご活躍と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



— 同窓会より 記念品 —

## ホームカミングについて

2022年10月22日、白百合祭当日にホームカミングを3年ぶりに開催いたしました。

今回から会場を2号館の1階から2階に移し、規模も縮小したため多少の不安がありましたが沢山の方にご来場いただき事務局一同ホッと致しました。

また、恒例のチャリティバザー（洋服、食器、雑貨、手作り小物など販売）と合わせて今年初めて管理栄養学科の学生が手掛けた食品加工品の展示販売も行いました。

同窓生の皆様、白百合祭に足をお運びいただき、ホームカミングにもぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。



## 年会費お支払のお願い

卒業時に納入していただきました終身会費は、通信費等に使われておりましたが、諸般の値上がり等により、60才以上の方に年間2,000円の会費のご協力をお願いしております。

尚、60歳をお迎えにならなくても、ご賛同をいただけます方はご協力よろしく願いいたします。

会費は、下記の口座へお振込くださるようお願いいたします。（※振込票は同封しておりませんので何卒、各自でお願いいたします。）

記

●ゆうちょ銀行 02280-2-137248

●加入者名 仙台白百合女子大学同窓会

送金なさる時、回生も書いてください。（封筒の名前の下に書いてあります。）（例 家政科1回生）

●年会費 2,000円 振り込み手数料はご負担をお願いいたします。

家政科 1回生 14名／2回生 2名／3回生 5名／4回生 3名／5回生 1名／6回生 4名／7回生 6名／8回生 5名／9回生 2名／10回生 1名／11回生 2名／12回生 4名／14回生 1名／15回生 3名／16回生 1名／21回生 1名／英語科 4回生 1名

合計協力金 120,000円（人数56名） 2023年3月6日現在

昨年度ご協力いただいた皆様方に、深くお礼申し上げます

## 同窓会総会中止のお知らせ

いつも同窓会にご理解・ご協力を賜りましてありがとうございます。

標記の件につきまして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2023年6月4日（日）開催予定の「同窓会総会」を中止することになりました。

同窓生の皆様の安全・安心を第一に考えての決定となりました。ご理解いただければと存じます。

大変残念な結果となりましたが、この新型コロナウイルスが早く収束することを願い、皆様方のご健康をお祈り申し上げます。

なお、下記の項目につきましてその承認および新年度執行を役員会に一任していただきますようお願い申し上げます。

記

① 2022年度事業報告並びに収支決算報告

② 2023年度事業計画案並びに予算案

同窓生の皆様には諸事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



## Yukata Day

人間発達学科4年 遠藤 ももか

同窓生の皆様、こんにちは。

2022年7月8日（金）に第4回Yukata Dayを開催いたしました。

Yukata Dayは2017年に矢口学長によって発案され、学生会が中心となり2022年で4回目の開催となりました。今回は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催をすることができました。

Yukata Dayは、日本の伝統的な文化を体験してもらうこと、着付けの技術を学ぶこと、また教職員と企画を通じて交流し、大学の活性化を促進すること等を目的として企画されました。

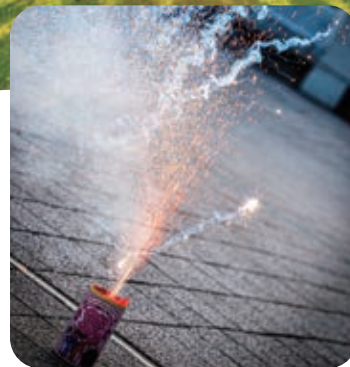
このYukata Dayは、学生・教職員が日本文化である浴衣を着て過ごす1日となっております。

昔はよく着られていた浴衣ですが、現在では夏祭りなどのイベントの時などしか着られていません。しかし新型コロナウイルスの影響によりこの3年間は浴衣を着る機会が全くありませんでした。浴衣を着る機会が減ってしまった今、本学のYukata Dayは浴衣を着ることのできる貴重な文化的経験の機会ではないかと思えます。

3年ぶりのYukata Dayでは多くの方々に浴衣を着て頂きました。浴衣で大学に來たりそのまま講義を受けたりといつもと違う1日となりました。今年は浴衣を着ていなくてもアイスをプレゼントしたり、仙台白百合オリジナルうちわを配布致しました。また当日は講義終了後行いました花火大会では沢山の学生に参加していただくことができました。友達と楽しく写真や動画を撮ったりしている学生や置き花火を全員で見たりと沢山の思い出を作ることが出来ました。最後は学生の皆さんに「ありがとう！楽しかった！」と仰っていただきました。

私自身大学に入学してから初めてのYukata Dayでしたので過去のことが全く分からず企画・運営の大変さや難しさを学びました。私1人ではやり遂げられなかったことも、学生会役員の皆さんの協力のおかげで無事にやり遂げることができました。Yukata Dayに多くの学生、教職員の皆様に参加して頂き、とてもやりがいを感じました。

ぜひ毎年Yukata Dayが引き続き開催されることを願っています。



### 訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

回生	科	名前
〈短大〉	5	家政 松田 和佳子
	7	家政 小華和 直子
	24	家政 大森 恵美子

名前
〈教職員〉 梅津 良逸 (2023年3月)

ご逝去なされた方の情報がお分かりになりましたら、事務局までお知らせ下さいますようお願いいたします。



## 2022年度 会計報告

### 2022年度 決算報告

項目	取入	支出	備考
2021年度繰越金	21,614,890	0	定期預金・普通預金を含む
2022年度終身会費	3,660,000	0	女子大学24回生(244名)
年会費	120,000	0	(56名分)
利息	222	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	0	0	
入会式	0	172,125	卒業記念品
会議費	0	10,450	幹事会・役員会等
総会費	0	0	総会中止
会報費	0	1,010,812	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	60,000	花代(入学式・卒業式)
事務費	0	852,850	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	10,000	ホームカミング・大学祭広告等
予備費	0	0	
合計	25,395,112	2,116,237	

2023年3月31日次年度繰越金 23,278,875

### 2023年度 予算(案)

項目	取入	支出	備考
繰越金	23,278,875	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費	3,300,000	0	女子大学25回生(220名)
年会費	120,000	0	
利息	222	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	0	0	
入会式	0	200,000	卒業記念品等
会議費	0	50,000	幹事会・役員会等
総会費	0	0	総会中止
会報費	0	1,300,000	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	100,000	花代(入学式・卒業式)その他
事務費	0	1,300,000	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	50,000	ホームカミング・大学祭広告等
予備費	0	300,000	その他
合計	26,699,097	3,300,000	

差引次年度繰越予算額 23,399,097

## 新幹事紹介

### 仙台白百合女子大学 人間学部24回生

人間発達学科 子ども発達専攻

A組 猪股 万愛／内ヶ崎唯衣

B組 渡部 花梨

心理福祉学科

高橋 一華／加賀谷花音

健康栄養学科 管理栄養専攻

A組 菅野 美咲／加藤 夏実

B組 南幅 理菜／原田 亜依

グローバル・スタディーズ学科

A組 斎田あかり／鈴木 茅穂

B組 先崎 まこ／大久保美羽

## 人 事

### 〈退職〉

2022年6月30日付

人間発達学科研究室  
平野 美紀

2023年1月31日付

健康栄養学科研究室  
高橋 朱莉

2023年3月31日付

人間発達学科  
教授 牛渡 淳

健康栄養学科  
准教授 山城 秋美

事務局次長兼入試広報課長  
高橋千恵子

情報システム管理室  
若林 雅子

### 〈新任〉

2022年7月1日付

人間発達(現：子ども教育)  
学科研究室

2023年4月1日付

子ども教育学科  
特任教授 佐藤 深雪  
講師 坂場 寛子

健康栄養学科研究室  
阿部 佳乃

## 同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、大学より提供された卒業生名簿を同窓会会報の発送と幹事へのお知らせのために利用させていただいております。

還暦祝い・25周年の祝い・同期会などの必要と認められる場合のご連絡については、代表者(学年幹事等)の方に、使用目的の誓約書を提出していただくことをお願いし、個人情報については適切に取り扱っております。

**住居表示・姓名**に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。その際、下記の事項をお忘れなくご記入の上、電話・ハガキまたはFAXにてお知らせくださいようお願いいたします。

記

- 氏名(現・旧)
- 住所(現・旧)
- 電話番号
- 学科・回生・クラス

### 【連絡先】

仙台白百合女子大学同窓会事務局  
〒981-3107 仙台市泉区本町田6-1  
TEL・FAX (022) 372-3595  
(毎週木曜日開局)

### ● 編集者

阿部美恵子(家政科 3回生) 塚本 良子(家政科 5回生)  
斉藤 礼子(家政科15回生) 西條るり子(家政科15回生)